

事業所名

NEXTSCHOOL

児童発達支援プログラム (NEXTSCHOOL)

作成日

2026年

3月

1日

法人（事業所）理念		当法人は、地域に根ざしたスポーツクラブを育成し、地域社会におけるスポーツの普及・振興を図る。幼児から高齢者まで、障害の有無にかかわらず、誰もがスポーツ活動を楽しめる豊かな環境を構築し、地域住民の健やかな生活と心身の発達に寄与することを目的とする。						
支援方針		児童発達支援では、未就学児が安心して過ごせる環境を整え、子どもの「やってみたい」「できた」という気持ちを大切に。信頼できる大人との関係性を基盤に、遊びや運動を通して、感性・表現力・コミュニケーション力・社会性の基礎を育む。障害の種類や程度に関わらず、一人ひとりの発達段階に応じた支援を行い、将来の自立につながる力を育てる。						
営業時間		13時	0分	19時	0分	まで	送迎実施の有無	あり
		支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	活動の見直しを持てるよう、絵カードや視覚の手がかりを用いて流れを提示する。 準備・片づけ・道具の整理などを大人と一緒に、生活習慣の基礎を身につける。 安心して過ごせるルーティンを整え、情緒の安定を図る。						
	運動・感覚	粗大運動（走る・跳が・投げる・バランス遊び等）を通して、体幹・筋力・バランス感覚を育てる。 ボール遊びやサーキット遊びなど、楽しみながら身体の使い方を学ぶ活動を提供する。 感覚刺激（触覚・固有感覚・前庭感覚）を適切に取り入れ、身体調整力を高める。						
	認知・行動	順番を待つ・切り替える・簡単なルールを理解するなど、集団活動の基礎を育む。 相手の動きや状況を見て行動を調整する経験を積み、力加減や身体コントロールを身につける。 小集団での遊びを通して、役割を持つ・協力するなどの行動面の成長を促す。						
	言語 コミュニケーション	表情・ジェスチャー・指差し・単語・短文など、子どもが使いやすい表現手段を広げる。 指導員が子どもの気持ちを代弁しながら、少しずつ自分の言葉で伝える経験を積む。 感情が高ぶった際の落ち着き方（深呼吸・離れる・大人に知らせる等）を一緒に練習する。						
	人間関係 社会性	安心して参加できる環境を整え、子どもが自分で選べる活動を用意する。 他児との関わりを無理なく広げ、楽しく過ごせるように支援する。 不快な時の伝え方（言葉で伝える・その場を離れる・大人に知らせる等）を学び、適切な自己表現を身につける。						
家族支援		希望者には心理士によるペアレントサポート講習を実施し、家庭での関わり方や発達理解を支援する。 家庭と事業所が連携し、子どもの成長を共有しながら一貫した支援を行う。			移行支援		一定時期になれば児童館や地域の少年団やスポーツクラブに地域移行している。地域のスポーツ活動や自然体験活動を取り入れ、子どもの経験の幅を広げる。	
地域支援・地域連携		社会福祉協議会やNPO等の主催の地域行事に参加している。FB等参照			職員の質の向上		新たな福祉サービスの在り方を模索している。	
主な行事等		畑での自然学習を行い、自然界との調和融合を目指し、障害の有無にかかわらず人間の元来あるべき姿をさがしている、						